

ESG への取組み

SDGs 宣言と重点課題

2019年2月に策定した「群馬銀行グループ SDGs 宣言」では、当行グループの事業内容や営業エリアから、特に貢献が可能な7つの目標を中心に4つの重点課題を定め、事業活動を通じた社会・環境課題等への取組みを進めています。SDGs 宣言の考え方をもとに策定した中期経営計画における各施策に取組むとともに、課題解決に向けた新たな取組みを進めることで、持続可能な社会の実現と経済的価値の創造に貢献していきたいと考えています。



群馬銀行グループ SDGs 宣言 (GB Sustainability Policy 2030)

私たちは、地域社会の発展を常に考えた事業活動の推進を通じて、
SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献し、
持続可能な社会の実現と経済的価値の創造に努めてまいります。

重点課題と取組方針

地域経済の持続的発展

地域の事業者の皆さまの成長支援や、地域活性化に向けた取組みを充実させるとともに、お客さまの多様なニーズに応じた金融サービスの提供により、地域経済の持続的な発展をサポートします。
次世代の担い手を育成するための多様な教育機会の提供・拡充に努めるとともに、地域の皆さまの金融リテラシー向上に向けて、金融経済教育の充実に取組みます。

地球環境の保全と創造

群馬銀行環境方針に基づき、環境保全や美しい環境の創造に取組むお客さまを支援するとともに、私たちの事業における環境負荷の低減に取組みます。

多様な人材の活躍推進

女性や若年層、シニア層などすべての職員が生き生きと活躍できる職場づくりに向けて、役職員の多様性を高め、その活躍に向けた育成や柔軟な働き方の実現に取組みます。

パートナーシップの推進

地方公共団体や法人、個人のお客さまなどとのパートナーシップにより、地域全体で持続可能な社会の実現に向けて取組みます。

主な取組み

- 起業支援の充実
- 事業承継課題への網羅的な取組み
- 資産形成や資産承継等に資する金融サービスの提供
- 高校や大学等での金融経済教育講義の実施
- サステナビリティ・リンク・ローンの取扱い開始



- 再生可能エネルギー向け融資や省エネローン等の取扱い
- 「ぐんぎんの森」保全活動
- 群馬銀行環境財団を通じた環境保全活動支援
- タブレットの活用やWEB口座によるペーパーレス化の推進
- グリーンボンドの発行



- 「L-NEXT」（女性活躍推進チーム）など女性活躍推進に向けた取組み
- 柔軟な働き方の実現に向けた制度・環境整備



- ぐんぎん SDGs 私募債による啓蒙と SDGs に資する活動支援
- 地方公共団体等との連携による地域全体での SDGs 推進



環境への取り組み

当行では、2009年5月に制定・公表した「群馬銀行環境方針・環境行動基準」に基づき、自ら環境負荷の低減に取り組むとともに、設立した環境財団を通じて、環境保全活動の支援や環境保全教育にも取り組み、事業活動を通じては環境保護に貢献できる金融商品の販売に努めるなど、環境保全に関する積極的な取り組みを続けています。

《環境方針》

群馬銀行は、環境と産業が両立する真に豊かな地域社会の実現を目指し、ふるさとの自然環境を大切にしていきたいと考えています。環境保全に積極的に取り組み、市民としての責任ある役割を果たしていきます。

《環境行動基準》

1. 省資源、省エネルギー、リサイクル活動を推進し、環境への負荷の低減に努めます。
2. 金融商品・サービスの提供などを通じて、環境保全に取り組むお客さまを支援します。
3. 役職員に対する環境教育を推進し、役職員の環境保全活動を支援します。
4. 地域における環境保全活動を支援します。

気候変動リスクへの取り組み

群馬銀行は、「群馬銀行グループSDGs宣言」の重点課題の一つである「地球環境の保全と創造」に向けた取り組みとして、2020年7月にTCFD※提言への賛同を表明しました。今後、気候変動が当行の経営にもたらす影響などに関して、情報開示の充実を進めてまいります。



※ Task Force on Climate-related Financial Disclosures (気候関連財務情報開示タスクフォース)

ガバナンス

○当行は、TCFD提言に沿った開示を進めるとともに、気候変動を含む環境への取り組み状況について常務会で議論を行い、逐次、取締役会に報告しています。

戦略

- 脱炭素社会の実現に向けて、サステナブルファイナンス（持続可能な社会を実現するための金融）を拡充し、お客さまの環境保全に対する取り組みをさまざまなかたちでサポートしてまいります。
- 気候変動リスクが当行の与信ポートフォリオに与える影響を把握するため、移行リスクと物理的リスクによる影響の分析を検討してまいります。

リスク管理

- 「環境・社会に配慮した投融資方針」を新設し、気候変動に影響を与えるセクターに対する投融資方針を定めています。
- 気候変動リスクを当行の事業・財務に影響を及ぼす重要なリスクとして認識し、リスク管理体制の構築を検討してまいります。

指標と目標

○温室効果ガス排出量の削減目標と紙（コピー用紙）の使用量における削減目標を設定しています。

温室効果ガス排出量削減目標

2025年度	2013年度比 23%以上削減	2020年度実績 同 15.9%削減
2030年度	2013年度比 26%以上削減	

紙（コピー用紙）の使用量削減目標

2025年度	2013年度比 30%削減	2020年度実績 同 30.2%削減
2030年度	2013年度比 40%削減	

※排出係数の増減の影響を排除する為、電気の排出係数を2013年度の計数にて固定して算出。
※温室効果ガス排出量の算出範囲は、群馬銀行国内拠点におけるスコープ1、スコープ2、スコープ3の一部。

「環境・社会に配慮した投融資方針」の新設

当行は、2021年6月、サステナビリティを考慮した環境・社会課題解決に資する取組みとして、「環境・社会に配慮した投融資方針」を新設しました。環境や社会に大きな影響を与える可能性があるセクターへの投融資に関する取組方針を定め、取組方針に基づいた投融資を行うとともに環境や社会課題解決に向けたお客さまの取組みを積極的に支援することで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

サステナビリティ・リンク・ローンの取扱開始

当行はお取引先のサステナビリティ経営をサポートし、企業価値向上および持続可能な社会の実現を目指すため、2021年6月より「サステナビリティ・リンク・ローン」の取扱いを開始しました。

本商品は2019年3月にローン・マーケット・アソシエーションが策定した「サステナビリティ・リンク・ローン原則」に準拠した融資手法で、野心的かつ有意義な挑戦目標を設定し、お取引先のSDGsやESGの取組状況と融資条件が連動するものです。また、第三者評価機関がサステナビリティ・リンク・ローン原則への適合性やサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲットの妥当性等をレビューします。

グリーンボンドの発行および「群馬銀行グループ グリーン／ソーシャル／サステナビリティボンドフレームワーク」の策定

当行は、2019年11月、SDGs達成への取組みとして、再生可能エネルギー、エネルギー効率およびクリーンな輸送などのグリーンプロジェクトを資金使途とするグリーンボンドフレームワークを策定し、他の地方銀行に先駆けてグリーンボンドを発行しました（発行額100億円）。新規実行で充当は完了しております（2021年3月末現在）。

また、2021年5月に「群馬銀行グループ グリーン／ソーシャル／サステナビリティボンドフレームワーク」を策定しました。本フレームワークでは、グリーンボンドフレームワークにおけるグリーンプロジェクトに加え、社会課題に寄与するソーシャルプロジェクトを資金使途に追加しています。

尾瀬保護財団への寄付

当行と委託会社が受領する信託報酬の一部を尾瀬の環境保全活動を行う尾瀬保護財団に寄付する自然環境保護ファンド「尾瀬紀行」を取扱っています。また、株主優待「寄付コース」による同財団への寄付も取扱っています。

《2020年度実績》 ●「尾瀬紀行」による寄付……………880,256円（累計：15,673,300円）

●株主優待「寄付コース」による寄付……………218,500円（累計：395,000円）

「ぐんぎんの森」整備活動

環境保全活動の一環として、群馬県と締結した「県有林整備パートナー事業実施協定」により指定された森林を「ぐんぎんの森」と命名し、その整備・保全活動に取り組んでいます。

新入行員研修には森林整備体験を組み込み、森林の整備・保護に関する行員教育を実施しています。（2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施）



群馬銀行環境財団の活動

快適で健全な環境の整備向上を目指して設立した公益財団法人群馬銀行環境財団では、環境保全および環境の調査・研究に対する啓発・助成活動に取り組んでいます。

啓発活動として、小学生を対象に地球温暖化などの環境問題について体験学習を行う「エコ・キッズキャンプ in 赤城山」と中学生を対象に渡良瀬川の源流や旧足尾銅山を訪ね、環境学習、植樹体験などを通じ自然環境を守ることの大切さを学習する「環境探検隊」を実施しています。（2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施）

助成活動として、2020年12月、群馬県内の小・中学校や高等学校の中から環境改善や保全について実践的で優れた活動を行った10校を「群馬銀行環境財団教育賞」として発表しました。また、2021年3月には、自然環境の保全活動や調査研究に優れた業績をあげた7団体を「群馬銀行環境財団賞」として表彰しました。

社会貢献活動等への取組み

当行では、地域の産業や文化の発展と豊かな生活づくりのお役に立ちたい、よき市民でありたいという企業理念のもと、地域における文化遺産の保護に加え、芸術・文化・スポーツ活動、金融経済教育の支援に取り組んでいます。

「ぐんぎんSDGs 私募債」等の取扱い

SDGs 達成への貢献ニーズをお持ちのお客さま（企業）の資金調達支援では、当行が受け取る社債発行手数料の一部を学校・地公体やSDGs 達成への取組みを行う団体等に寄付・寄贈する私募債を取扱っています。

また、SDGs 達成に向けた事業に自ら取組むお客さまの手数料優遇等を行う私募債も取扱っています。

SDGs 私募債等による寄付（2021年3月末）

- 累計発行額 826億円
（環境配慮型および地方創生私募債を含む）
- 寄付累計額
75,233千円 / 460件（地方創生私募債を含む）
- うち公的医療機関向け等への寄付
1,900千円 / 13件

群馬県世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金への寄付

当行と委託会社が受領する信託報酬の一部を世界文化遺産「富岡製糸場・絹産業遺産群」の保護活動のために寄付を行う投資信託「群馬の絹遺産」を取扱っています。また、株主優待「寄付コース」による基金への寄付も取扱っています。

《2020年度実績》 ●投資信託「群馬の絹遺産」による寄付・・・912,933円（累計：7,684,901円）

●株主優待「寄付コース」による寄付……………62,000円（累計：105,000円）

金融教育への支援

①群馬大学への講師派遣

2017年度より群馬大学との連携講座を実施しています。2020年度は「学びのリテラシー」講座に講師3名を派遣し、金融経済について講義を行いました。

②高校での社会人講話

太田市との包括連携協定に基づき、太田市立太田高等学校で開催された「社会人講話」において、「お客さま本位の業務運営と接客対応について」と題し行員が講演を行いました。

③小中学生・高校生の体験学習の受入れ

地域の小中学校の児童・生徒の体験学習を各営業店で、高校生の企業見学を本店で受け入れています。

④エコノミクス甲子園

高校生が楽しみながら金融経済に触れ、金融知力を身につける機会を提供するため、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の群馬大会を主催しています。

スポーツ活動への支援（群馬銀行グリーンウイングス）

バレーボールのVリーグ女子2部（V2）に参戦している「群馬銀行グリーンウイングス」は、昨シーズンV2連覇を果たしました。V1チームとの入替戦では惜しくも敗れ、悲願のV1昇格は来季以降に持ち越しになりました。

今後もVリーグのほか国体出場を目指して活動していくとともに、バレーボール教室などを通して地域社会への貢献活動も積極的に行っていきます。



群馬銀行グリーンウイングス

芸術・文化活動への支援

群馬交響楽団に対し、定期演奏会を協賛するなど活動を支援しています。

なお、群馬交響楽団は地域社会に密着した芸術活動を行っており、定期演奏会のほか、小中学生を対象とした移動音楽教室を開催するなど、地方における音楽文化の向上に貢献しています。

ゴールドリボン支援自販機の設置

売上金の一部が認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワークを通じて小児がんの治療研究開発などの支援に役立てられる「ゴールドリボン支援自販機」を設置しています。該当自販機で1本購入するごとに、代金の一部が小児がんの子どもたちへの支援になります。